

第4学年1組 社会科学習指導案

平成26年11月28日（金）

授業者 岩田 信之

児童数 男子16名 女子12名 計28名

1 単元名 わたしたちの埼玉県

「(2) まちのよさを生かした人々の暮らし～和紙のふるさと小川町～」

2 小单元について

(1) WEB上では掲載しません。

(2) 本小单元は、小学校学習指導要領社会編第3学年及び第4学年の目標(2)の内容(6)を受けて設定したものである。特に、「県内の特色ある地域の人々の生活」を調べることを通して、自分たちの住んでいる県の特色を考えることができるようにすることをねらいとしている。

本小单元を進めていく際には、小单元の導入である「つかむ」過程で、和紙と洋紙を比べる活動を取り入れる。実際に和紙に触れたり、やぶいてみたりすることで普段使っている洋紙との違いに気付かせることで、どのように作られているのだろう、和紙の強さの秘密は何だろうという疑問をもたせる。さらに、和紙で作られた服を着てみたり小川和紙が皇居のふすまに使われている事実を知らせたりすることで和紙の価値に気付かせ、和紙への興味・関心を高めていく。その上で、「和紙のふるさと」と呼ばれている小川町の観光客数が平成に入って増加した要因を予想させる。予想の際には、前单元(1)まちのよさを生かした人々の暮らし～蔵造りの街並みを生かす川越市～」で得た「地域の人や市役所が協力して蔵造りの街並みを生かしたまちづくりをしてきた」という見方を生かして予想させる。小川町の観光客数が増加した要因を予想することで、問題意識を高め、学習内容を自分のこととした上で单元全体の学習問題「小川町の人々はどのようにして和紙を生かしたまちづくりをしているのだろうか。」を設定する。

「調べる」過程では、和紙を生かした町づくりについて多面的に見ることができるように「伝統工芸会館」、「町役場、商工会議所」、「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」の視点から調べていく。第5～7時では、小川町にある伝統工芸会館への見学を取り入れ、手漉き和紙の体験や職人さんへの聞き取り調査を行う。手漉き和紙の体験活動や職人さんと実際に触れあう活動は、子どもたちが楽しみにしている活動であり、学習内容に対してより興味・関心を高める活動であると考えられる。職人さんへの聞き取り調査の際には、和紙づくりについてだけでなく、和紙を生かした町づくりについても質問できるように、あらかじめ見学計画を立てておくようにする。見学後には、友達と感想を交流したり体験したことを絵や言葉で新聞に表したりして再構成することで、体験を学習経験へと高めていく。その後、「町役場、商工会議所」、「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」の取組についても、小川町のパンフレットやホームページ等を活用して調べていく。また、本单元の学習中に細川紙が世界無形文化遺産などに登録されることから、登録に向けた取り組みや新聞・テレビ報道等も取り上げていく。子どもたちにとってまさに今学習している細川紙の世界無形文化遺産登録を取り上げることは、社会的事象を身近に感じさせ、問題を自分のこととしてとらえさせることに役立つと考える。さらには、紙衣や手漉き和紙の未来展など、現代の暮らしに生かそうとする取り組みも紹介していくことで、和紙を身近に感じさせていきたい。

第10時では、小川和紙の直面する問題について扱う。特に、後継者問題や需要の減少といった問題の解決に向けた町や職人さんの取り組みを具体的に調べさせることで、伝統の保護・継承の難しさについて考えさせたい。また、生産量や消費量が減少する中で小川和紙のブランド化と低価格化による大衆化という役割を担っているのが機械漉き和紙である。需要を増やすための機械漉き和紙職人さんの新たな商品の開発や努力についても取り上げていく。

「まとめる・生かす」過程では、これまで調べてきた「伝統工芸会館」、「町役場、商工会議所」、「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」の和紙を生かしたまちづくりについての関係図を作成することで、相互の関連性を考えられるようにする。第11時では、これまで調べてきたことを立場ごとに振り返って整理し、個人で関係図を作成する。「伝統工芸会館」、「町役場・商工会議所」、「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」のかかわりを矢印で表現させ、矢印の意味を具体的に書かせることで調べた事実に基づく関係図を作成させていく。第12時では個人で作成した関係図を基に学級全体で意見交流し、学級で1枚の関係図にまとめていく。そして、学級全体で作成した関係図を基に学習問題の結論を考えていく。学習問題の結論を考える際にはペアでの意見交流や学級全体での意見交流を取り入れ、より公正な結論が導き出せるようにする。その後、第13時では川越市と小川町の学習で獲得した「地域の人々や市役所・町役場の人が協力して伝統や文化を保存し活用している」という見方を生かして、県内の他地域の事例を調べ、県内の他地域についても同じであることに気付いていく。

3 小単元の目標と評価規準

小川町の人々の生活の様子に関心をもち、地図や写真資料、見学や聞き取り調査などを活用して意欲的に調べ、関係図にまとめる。また、地場産業である和紙づくりのさかんな小川町の人々の生活の様子及び国内の他地域や外国とのかかわりをもっていることについて理解し、小川町の特色について思考・判断したことを言語などで適切に表現する。

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
和紙や小川町の人々の生活の様子に関心をもち意欲的に調べ、小川町に対する愛情をもとうとする。 また、県内において地域の伝統や文化を保存し活用している事例について関心をもち意欲的に調べようとする。	和紙や小川町の人々の生活の様子などから学習問題を見出して追究し、小川町の和紙を生かしたまちづくりについて思考・判断したことを言語などで適切に表現している。	和紙や和紙を生かした町づくりを進める人々の様子について、統計や写真資料、パンフレット、見学や聞き取り調査などを通して調べ、ノートやワークシート、関係図等にまとめている。	和紙や和紙を生かした町づくりを進める人々の様子及び和紙づくりの課題や国内の他地域や外国とのかかわりをもっていることについて理解している。 また、県内において地域の伝統や文化を保存し活用している事例や取り組みについて理解している。

4 知識の構造図

学習指導要領の「内容」との関連

○内容(6)

県(都、道、府)の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県(都、道、府)の特色を考えるようにする。

ウ 県(都、道、府)内の特色ある地域の人々の生活

中心概念

小川町では、町役場や商工会議所、職人さんや地域の人々、ボランティアの方、伝統工芸会館などが協力して和紙を生かした町づくりを進めている。⑪⑫



*第2時は学習計画を立てる時間、第4時は見学の計画を立てる時間のため欠番とした。

5 指導計画（13時間扱い）

*数字は時間を表す。 関：社会的事象への関心・意欲・態度 思：社会的な思考・判断・表現

（ ）は評価方法を表す。技：観察・資料活用の技能

知：社会的事象についての知識・理解

	学習活動・学習内容	評価の観点・内容・方法
つ か む	<p>1 小川和紙と洋紙の比較や小川町の観光客数の変化の様子から、学習問題を立てる。</p> <p>①小川和紙と洋紙を比較する。</p> <p>比較の例</p> <p>○触る ○やぶく</p> <p>○価格 など</p> <p>②小川町の観光客数の変化から、増加の理由を予想し学習問題を立てる。</p> <p>・小川町の観光客数増加の理由を、川越市の学習を生かして予想すること</p>	<p>関 和紙や和紙づくりのさかんな小川町の人々の生活の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。</p> <p>(態度・ノート)</p> <p>思 小川和紙と洋紙の比較や、和紙を生かした製品、小川町を訪れる観光客数などから、学習問題をつかんでいる。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>
	<p>学習問題Ⅰ 小川町の人々は、どのようにして和紙を生かしたまちづくりをしているのだろうか。</p>	
調 べ る	<p>2 学習問題の解決のための学習計画を立てる。</p> <p>・学習カードを活用して、学習計画を立てること</p> <p>・見通しをもつこと</p>	<p>思 学習問題を解決するための計画を考え、学習カードに表現している。</p> <p>(学習カード・発言)</p>
	<p>3 文献資料や副読本、小川町のパンフレットなどを利用して小川和紙の歴史や原料などについて調べる。</p> <p>・小川和紙の歴史</p> <p>・和紙の原料</p> <p>・製造過程・製品の出荷先</p> <p>・小川町の位置や地形とのかかわり</p>	<p>技 小川和紙について副読本やパンフレットなどから読み取ったことをノートやワークシートにまとめている。</p> <p>(ノート・ワークシート)</p> <p>知 小川町で和紙づくりが盛んになった理由や製品が全国各地に送られていることから、国内他地域との関わりがあることについて理解している。</p> <p>(発言・ワークシート)</p>

	<p>4 埼玉伝統工芸会館へ見学に行く計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学・調査の視点 (和紙の原料・製造過程・職人の技術・苦労や工夫・和紙を生かしたまちづくり) ・調べ方 (聞き取り・紙漉き体験・工房内の観察) 	<p>思 埼玉県伝統工芸会館への見学計画を考え、しおりに表現している。 (しおり・ノート)</p>
調	<p>5・6・7 埼玉伝統工芸会館に行き、見学や聞き取り調査をする。(社会科見学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学調査内容 <ul style="list-style-type: none"> ①手漉き和紙職人さんの作業 <ul style="list-style-type: none"> ○手漉き和紙の製作過程 ○手漉き和紙職人さんの伝統的な技術 ○職人さんの工夫や努力 ②伝統工芸会館の活動 <ul style="list-style-type: none"> ○和紙を生かした町づくり (行事・普及(広報活動)・町内行事への協力・後継者の育成活動等) 	<p>技 手漉き和紙職人さんの作業の様子や制作過程、それに伴う伝統的な技術、工夫や努力、伝統工芸会館の和紙を生かしたまちづくりの様子について見学や聞き取り調査を通して調べ、しおりやノートにまとめている。 (見学のしおり・ノート)</p> <p>知 手漉き和紙職人さんの作業の様子や制作過程、それに伴う伝統的な技術、工夫や努力、伝統工芸会館の和紙を生かしたまちづくりの様子を理解している。 (見学のしおり・ノート)</p>
べ	<p>8 町役場、観光協会、商工会議所の和紙を生かした町づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和紙を生かした行事 (七夕祭り・和紙マラソン・仙覚万葉祭り) ・和紙を使った製品の提案 ・後継者育成の取り組み ・世界遺産登録に向けた準備 	<p>技 町役場、観光協会、商工会議所の取り組みについて調べてノートやワークシートにまとめている。 (ノート・ワークシート)</p> <p>知 町役場、観光協会、商工会議所の和紙を生かした町づくりの様子を理解している。 (発言・ワークシート)</p>
る	<p>9 職人さんや地域の人々、ボランティアの方の和紙を生かした町づくりについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示会(紙衣) ・手漉きの卒業証書 ・紙漉きマイスター ・七夕祭り・和紙マラソンへの協力 	<p>技 職人さんや地域の人々、ボランティアの方の和紙を生かした町づくりについて調べてノートやワークシートにまとめている。 (ノート・ワークシート)</p> <p>知 職人さんや地域の人々、ボランティアの方の和紙を生かした町づくりの様子を理解している。 (発言・ワークシート)</p>

調 べ る	10 後継者問題や需要の減少問題など、小川和紙作の 直面している問題について調べる。 ・後継者の減少と後継者育成の取組 ・生産量の減少 ・機械漉き和紙職人さんの取組 (商品開発・低価格化)	技 後継者問題や需要の減少の問題 などを統計資料や副読本を基に調 べ、ノートやワークシートにまとめ ることができる。 (ノート・ワークシート) 知 小川和紙の直面している問題と その克服に向けた取組について理 解している。 (ワークシート・発言)
	11 調べてきたことをもとに、小川和紙の伝統の保護 やまちづくりにかかわる人々の関係図を作成し、学ん だことを整理する。 ・これまで調べてきたことをもとに個人で関係図を作 成すること	技 これまで調べてきたことを関係 図に表している。(関係図・発言)
	12 個人で作成した関係図をもとに、学習問題の結論 について話し合う。 ・前時に作成した関係図をもとに、学級全体で関係図 を作成すること ・学級で作成した関係図をもとに学習問題の結論を導 くこと(個人→ペア→学級全体)	思 学習問題の結論について関係図 をもとに意見交流し、結論を導き出 している。 (ワークシート・発言)
ま と め る ・	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>学習問題の結論</p> <p>小川町では、町役場や商工会議所、職人さんや地域の人々、ボランティアの方、伝 統工芸会館などが協力して和紙を生かした町づくりを進めている。</p> </div>	
生 か す	13 県内において、地域の伝統や文化を保存し活用し ている事例を調べる。 ・県内他地域の事例について調べる。 調べる事例 ○秩父市—秩父夜祭り ○草加市—草加煎餅 ○加須市—こいのぼり ○さいたま市(岩槻)—一人形 ○春日部市—桐たんす・大凧 ・調べた事例地について紹介すること	関 県内において地域の伝統や文化 を保存し活用している事例につい て関心をもち意欲的に調べようと する。(態度・発言) 知 県内には地域の伝統や文化を保 存し活用している市町村があり、地 域の人や市役所の人が協力をして 様々な取組をしていることを理解 している。(ノート・発言)

本時の展開 (12 / 13)

(1) 目標

意見を交流させながら関係図をまとめ、学習問題の結論を導き出している。(思考・判断・表現)

学習活動・学習内容	評価 (★)・指導上の留意点 (・)	資料・準備	時間
<p>1 これまでの学習を振り返り、本時の課題をつかむ。</p>	<p>・学習問題を確認し、これまで調べてきた「伝統工芸会館」「町役場、商工会議所」「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」の具体的な取り組みを振り返ることで本時の活動に見通しをもたせる。</p>	<p>・保田さんや谷野さんなどまちづくりにかかわる人の写真</p>	<p>5</p>
<p>学習課題 和紙を生かしたまちづくりの関係図をまとめ、学習問題の結論を考えよう。</p>			
<p>2 前時に個人で作成した関係図を基に、学級全体で関係図を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級全体で意見交流し、関係図を作成すること ・「伝統工芸会館」「町役場、商工会議所」「職人さんや地域の人々、ボランティアの方」の具体的な取り組みと関連について考えること <p>例</p> <p>〈七夕まつり〉</p> <p>町・・・企画・運営 伝統工芸会館・・・場所の提供 職人さん・・・体験指導、和紙提供 地域の人・・・飾りを作成して参加 〈紙漉きマイスター〉</p> <p>町・・・企画・広報 伝統工芸会館・・・場所の提供・技術指導 地域の人々・・・参加・作品展示 〈和紙マラソン〉</p> <p>町・・・企画・運営 職人さん・・・和紙の完走賞や賞状を提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場の図を矢印で結ぶことができた児童には、矢印の意味を考えさせることで事象同士の関連性を捉えさせるようにする。 ・友だちの意見を聞いて気付いたことや分かったことがあったら、自分のワークシートに青で書き込みをさせることで他者の意見をしっかりと聞かせるようにする。 ・矢印の意味を具体的に書かせ、事実を振り返らせることで、確かな事実に基づく関係図が作成できるようにする。 ・共通の言葉やキーワードは何か考えさせて、黒板に板書しておくことで学習問題の結論を書く際の手掛かりが黒板に残るようにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをまとめた図 ・和紙を生かしたまちづくりの取組が分かる写真資料 	<p>20</p>

<p>〈後継者育成〉 町、商工会・・・計画を立てる 職人・・・研修生を育成</p> <p>3 学級全体で作成した関係図をもとに学習問題の結論を考える。</p> <p>①個人で考える ②友達と（隣の席・他の班の友達）意見交流する ③修正した自分の結論を書く</p> <p>・学級全体で意見交流しながら結論を導く</p>	<p>・関係図を生かして考えさせるために、キーワードをヒントにして学習問題の結論を考えさせる。</p> <p>・学級全体で意見交流させる際には、意見を教師が価値づけして板書していく。</p> <p>・児童の言葉を教師が価値付けして、学習問題の結論を導くようにする。</p>	<p>・関係図</p>	<p>15</p>
<p>学習問題の結論</p> <p>小川町では、町役場や商工会議所、職人さんや地域の人々、ボランティアの方、伝統工芸会館などが協力して和紙を生かした町づくりを進めている。</p>			
<p>★意見を交流させながら関係図をまとめ、学習問題の結論を導き出している。 (ワークシート・発言)</p> <p>→抽象化した言葉で簡潔な結論が書けるように助言する。(B→Aへの手立て)</p> <p>→関係図をもとに結論が導き出せない児童には、学級全体で作成した関係図のキーワードに加え、町役場、職人さん、伝統工芸会館等のキーワードを与えて文章化しやすくさせる。(C→Bへの手立て)</p>			
<p>4 次時への見通しをもつ。</p>	<p>・次は、埼玉県内の伝統を保護・活用している他の事例地についても調べることを伝え次時への見通しがもてるようにする。</p>		<p>5</p>

板書計画

単元の学習問題 小川町の人々は、どのようにして和紙を生かしたまづくりをしているのだろうか。

